2018.08.01 Kyoni Communication Paper
NEW WAVE
プロフェッショナル購買＆生産技術パートナー kyoni

光あるところに影あり

代表取締役社長
井口宗久

皆様、大変ご無沙汰しております。

今年は非常に暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、弊社では本年10月1日に設立70周年を迎えることができますが、長年にわたり当社の活動を支えてくれた関係の皆様に深く感謝を申し上げます。

節目を迎えるにあたっての当社の概況ですが、既存のお客様の生産が概ね好調であること、そして非常に活発な設備投資を取り込むことができたことで、何とか前年を上回る業績で10月を迎えられそうです。

また、8月末には本社新社屋が完成いたしますし、別途正式にご案内いたしますが、名阪地域への新たな営業拠点の設立準備も進んでおり、私自身も京二全体もつい浮かれそうになります。

しかし、「光あるところに影あり」。

私が尊敬し師事する方から口を酸っぱくして言われている言葉であり、つい先日もお会いした際に同じことを忠告されました。なぜ光がさしているのか、いつまで光がさすのか、影の部分は何なのかを良く考えなければなりません。

例えば工作機械業界で言えば前年は過去最高の出荷額となり、今年は更に更新するのではと言われています。それをけん引する半導体業界の好況はいつまで継続するのか、米中貿易摩擦の影響はどうなるのか、国内人口がゆるやかに減少し自動車の販売台数も一進一退で推移する中で現在のような設備投資はどれだけ継続するのか……。

業界全体で光がさしている状況ですが、やはり影の部分をきちんと考え、景気に大きく左右されない企業体質を築き上げなければと考えております。

そのような中で2点ほどの取組みのトピックスをお伝えいたします。

① ロボットへの取組

まず、半年以上も前になってしまいますが、東

京ビッグサイトで開催されたロボットや自動化技術の展示会「ロボデックス」に初出展いたしました。当社はメーカーでもSIerでもありませんが、「自動化のコーディネーターとして、初めてロボットを検討するお客様へ導入支援をする」というコンセプトがご来場者にささり、たくさんのご相談をいただくことができました。すぐに受注になるわけではありませんが、継続してロボットの導入に向けてお手伝いをさせていただきます。

また7月には新たに発足したFA・ロボットシステムインテグレータ協会にも会員企業として加入いたしました。ロボット、自動化の導入の重要な担い手であるSIerさんとの連携を強化し、より良い形でのお客様へのご提案、導入へ繋げていきたいと考えております。

② 中国製品展開

従来から取り組んでいる超硬工具、PCD・CBN工具関連は順調に二桁成長ができておりますが、新たな取り組みとしてロストワックス製品の輸入販売に力を入れております。

6月に開催された機械要素技術展にも出展いたしましたが、不安定な生産や品質問題をかかえる現行メーカーからの切替、コストダウンのために他の鋳造方法からの切替などのお引合いをいただくことができました。また中国現地にも品管に関わる強力なコーディネータを提携することができ、今後の展開に手応えを感じてはじめております。本誌別項にもメーカー紹介のページがありますので、是非ご覧いただけますでしょうか。

どこまで行っても光のあとに必ず影は追いかけてくるものですが、それでも冷静に状況をとらえること、新しい取り組みをきちんと進めることを続けてまいります。

ロボデックス京ニブース